

ビジネススキルとしての統計学

株式会社数学アカデミー代表取締役

鈴木 伸介

ビジネスは

「数字」「統計」を中心に動いている

現代のビジネスの現場では、多くの職種で統計学・データ分析の知識・スキルが求められる。

- ・売上データを分析する
- ・広告の効果を測定する
- ・アンケート結果から顧客の嗜好を読み解く
- ・製造現場の歩留まりや品質データを管理する

本書は、こうしたお仕事で統計学・データ分析をする必要があるが、「数字が苦手」「統計学は難しそう」と感じている方たち（特に文系ビジネスパーソン）に向けて、架空のスーパーマーケットとお菓子工場のストーリーをベースに、統計学の具体的な使い方をわかりやすく解説する。数値を扱うため、どうしても計算が登場しますが、そのほとんどがいわゆる「四則演算」（足し算・引き算・掛け算・割り算）だ。本書で扱っているテーマは、統計検定の3～4級レベルの内容が中心だが、難しい理論や証明は省いて、身近なデータを題材に、データをどう読み取り、どう使うかという点を重視して解説している。

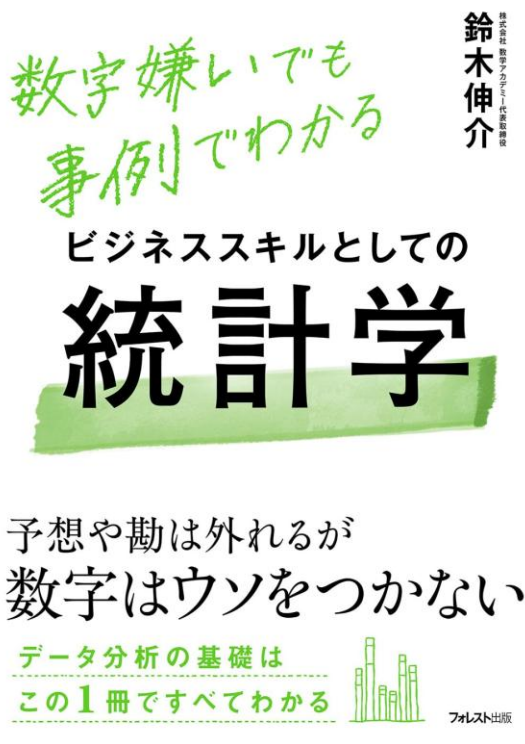
【著者】

鈴木 伸介（すずき しんすけ）

株式会社数学アカデミー代表取締役

早稲田大学理工学部応用物理学学科卒業。

大学受験2浪目時代に自ら学ぶことの楽しさを知り、大学卒業後に教育の道に進む。数学個別指導講師として担当した生徒数は、マンツーマンだけで400名を超える。現在は医学部を中心とした数字受験指導だけに留まらず、社会人向けに数学の楽しさや価値を伝える活動にも尽力。苦手な数学を克服したい大人や、昔好きだった数学をもう一度学び直したい大人に対し、楽しみながら学ぶ数学を提唱。数学を通して培われる力をビジネスに活かすためのセミナーも多数開催している。著書に『AI時代に差がつく仕事に役立つ数学』（小学館新書）、『もう一度解いてみる入試数学』（すばる舎）など。



【CONTENTS】

- 第1章 スーパーマーケットの
売上高や来店者数をグラフにする
- 第2章 お客様の買い物の傾向を捉える
- 第3章 広告と売上の相関関係を調べる
- 第4章 クッキーの不良品発生率と
チョコレートの重さのばらつきを調べる
- 第6章 おにぎりが以前よりも小さくなった？
- 第7章 売り場が変わると売れ行きも変わる？

【書誌情報】

本体価格-----1750円
ISBN----- 978-4866803555
ページ数-----216
判型-----A5判

初版 8,000部